

未来につなぐ、私たちのストーリー



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

2025年12月30日

「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約締結について

朝日信用金庫（本部 東京・千代田区／理事長 伊藤康博、以下「当金庫」）は、持続可能な地域社会の実現と、お客さまの脱炭素経営への取り組みに貢献するため、2025年12月30日（火）に以下の事業者さまと「サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）」の契約を締結したことを、お知らせいたします。

当金庫では今後も、持続可能な地域社会の実現に金融面から貢献するため、さまざまな金融サービスを通じて、お客さまのニーズにお応えできるように努めてまいります。

【企業概要】

事業者名	株式会社久保柳商店
代表者名	一條 真見
本店所在地	東京都台東区浅草6-22-14
事業内容	皮革素材および皮革製品の販売、加工、製造、卸売
設立	1950年6月
会社HP	https://kuboryu.com/

【契約概要】

契約日	2025年12月30日（火）
取扱店	浅草支店：東京都台東区浅草4-49-12
KPI	当社におけるCO ₂ 排出量の削減率（Scope1+Scope2）
SPT	CO ₂ 排出量の削減
フレームワーク	朝日信用金庫サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク （株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得）

S L Lとは、事前に定めた重要な評価指標（K P I）に対して、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（S P T）を設定し、S P Tの達成状況に応じて金利が変動する融資商品です。朝日信用金庫のS L Lは、お客さまとともに「脱炭素（カーボンニュートラル）」を目指していくために、K P Iを「CO₂排出量の削減率」、S P Tを「CO₂排出量の削減」として設定し、その達成状況に応じて金利が変動する仕組みとしています。

なお、朝日信用金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ関連の原則等に整合しているとの評価を得ています。

事業者の「想い」

「生き物への感謝」を伝えていきたい。

私たちが身につける皮革製品は、
いのちの源となる「食事」で消費された生き物たちが、
身体にまもっていたものです。

毎日の食事を残さず食べることと、
生き物たちの皮をすべて使い切ることは、
「資源を大切に消費する」という共通項があります。

そしてその仕組みを伝えていくことが、
皮革を取り扱う私たちの「使命」だと考えています。

資源の循環に携わる中で培ってきたサステナブルの意識を、
「脱炭素」の取り組みの深化へと、つなげてまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



【事業者さま（以下、「当社」）について】

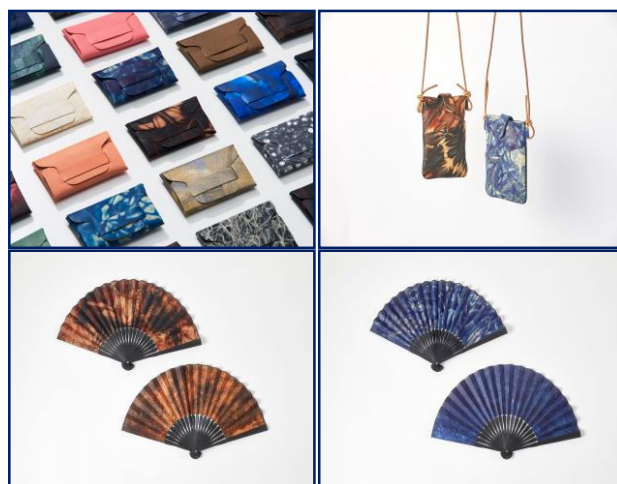
当社は1942年に東京・浅草で皮革商として創業。以降は80年以上にわたって天然皮革素材および天然皮革製品の販売、加工、製造、卸売などを主業としてきました。多種多様な商材と、小ロット対応、即納体制を元に、取引先との信頼関係を構築してきました。

当社は創業以来、「生き物への感謝」を伝えることを企業理念として掲げております。「人間が生きていくために毎日食事をすることで生まれる『皮革』という副産物を、すべて使い切ることで新たな命を吹き込み、それを愛用する」ということ。即ち、「永く受け継がれてきた皮革に関する資源の循環サイクルは、今もこれからも、ずっと変わることはない」と考え、「皮革を愛する思いを、生き物への感謝の気持ちに代えて、その気持ちと仕組みを伝えていく」ことに取り組んでいます。

また当社は、天然皮革と異素材に日本伝統の「染技法」を融合させた、メイド・イン・ジャパンプランド「te saho（テサホ）」を展開しています。日本の職人の手技の伝承と、究極のエコロジー素材といえる皮革との組み合わせにより、当社が考える「持続可能性＝サステナブル」を表現しています。

<「te saho」のコンセプト>

皮革を知り尽くしている当社だからこそできる、「皮革という究極のエコロジー素材に、日本各地の職人の伝統作法（手技）を掛け合わせ、さらに和紙などの異素材も組み合わせた、職人のハンドメイドによる商品」。手仕事ならではの風合いや美しさ、個性を追求して生み出された商品は、「一期一会の色」と「無二の個性」、「詫び寂び」を表現しています。



【当社のサステナビリティ方針について】

当社は「永く受け継がれてきた、皮革に関する資源の循環サイクル」を守り抜くことが、自社および皮革業界の永続的な発展に繋がっていくと考えています。また職人の技法を輝かせる「染料」も、今後は自然由来のものを増やしていく計画ですが、これ以上の地球温暖化の進展は、資源の循環サイクルの根幹をなす生態系の破壊、ひいては自社の存続への脅威であると認識しています。したがってカーボンニュートラルの達成により、自社の利益成長と、持続可能な社会の実現への貢献へと繋げていきたいと考えています。

＜気候変動に対する考え方、対策および方針＞

当社は、気候変動が引き起こす自然災害は、当社の事業活動にも大きな影響を与える可能性がある重大な課題であるとの認識に基づき、以下の取り組みを進めてまいります。

- ✓ CO₂排出量の削減
- ✓ LEDの利用促進など、エネルギー消費量の削減
- ✓ 再生可能エネルギーの活用を検討
- ✓ 環境に関する法令等を遵守

また自社の取り組みを積極的に公表していくことで、仕入先・販売先の方たちとともに「脱炭素」の取り組みの機運を高めていきたいと考えています。

＜取り組み目標＞

当社は、以下の目標を掲げています。

- ✓ 長期目標として、2050年度までに「カーボンニュートラル」の達成
- ✓ 短期目標として、毎年度2.8%以上のCO₂排出量の削減

【当金庫の評価】

当社は、SLLにおけるSPTのほか、自社のサステナビリティ方針において、気候変動に対する高い問題意識と、CO₂排出量削減に向けた具体的な対策および取り組み方針が示されています。また、具体的な取り組み目標を掲げており、今後は適時、適切に对外開示されます。

さらに、皮革自体を「人類が生き物の皮革の活用を始めた時から、皮革という素材そのものが、究極のエコロジー素材である」と位置付けており、「生き物への感謝の気持ち」を表すとともに、「皮革の活用がサステナブルにつながる」との信念を持って、企業活動に取り組んできました。このように従前から根付いている「サステナブルを重視する企業文化」は、「持続可能な地域社会の実現のために、脱炭素に取り組んでいく」という今後の方針とも重なる部分が多く、脱炭素の取り組みに対する強い意志も感じられます。

当金庫は、当社の環境課題解決へのお取り組みに敬意を表し、またそのお取り組みに対して貢献するために、SLLの融資契約を締結いたしました。

今後も当社のお取り組みに貢献できるよう、努めてまいります。

以 上